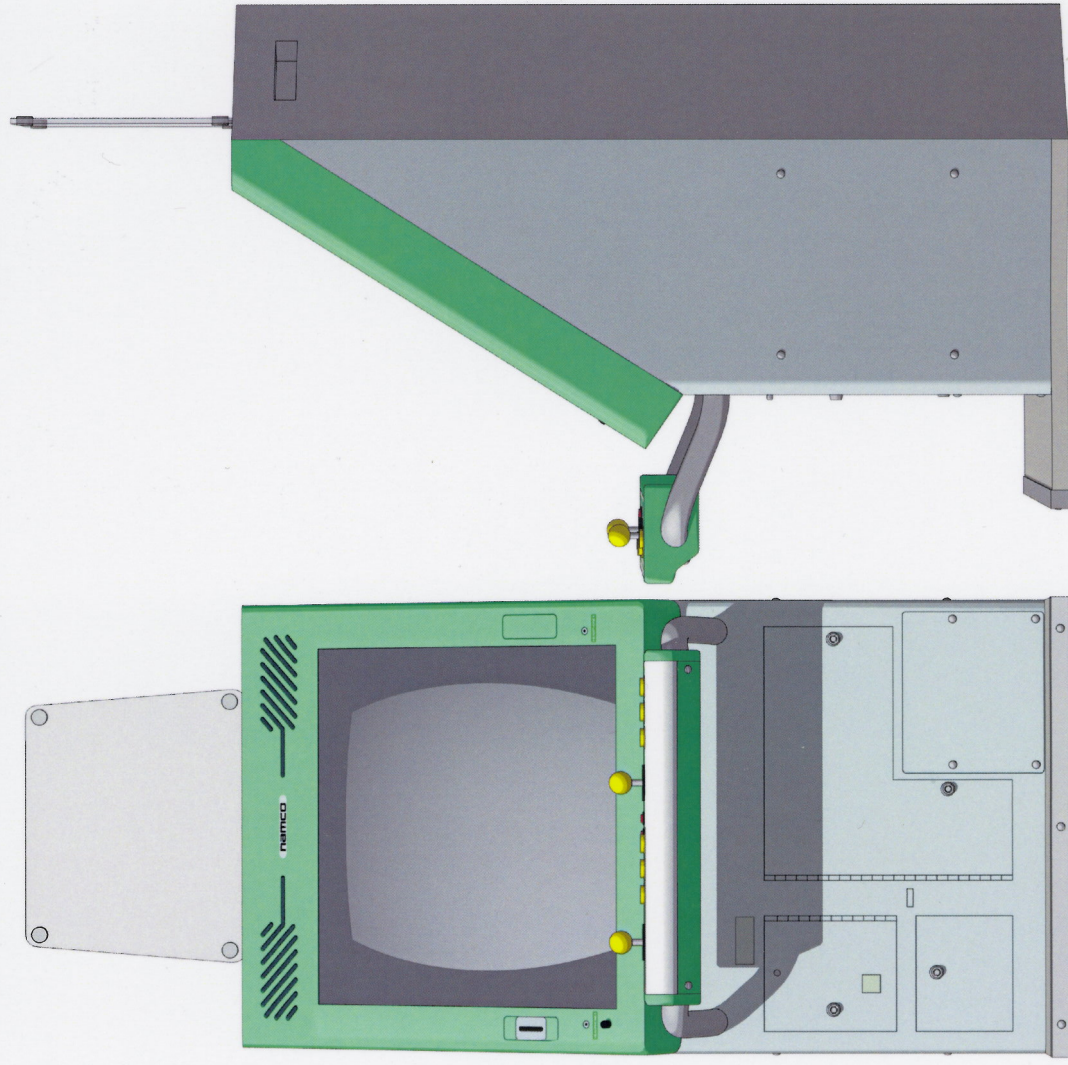
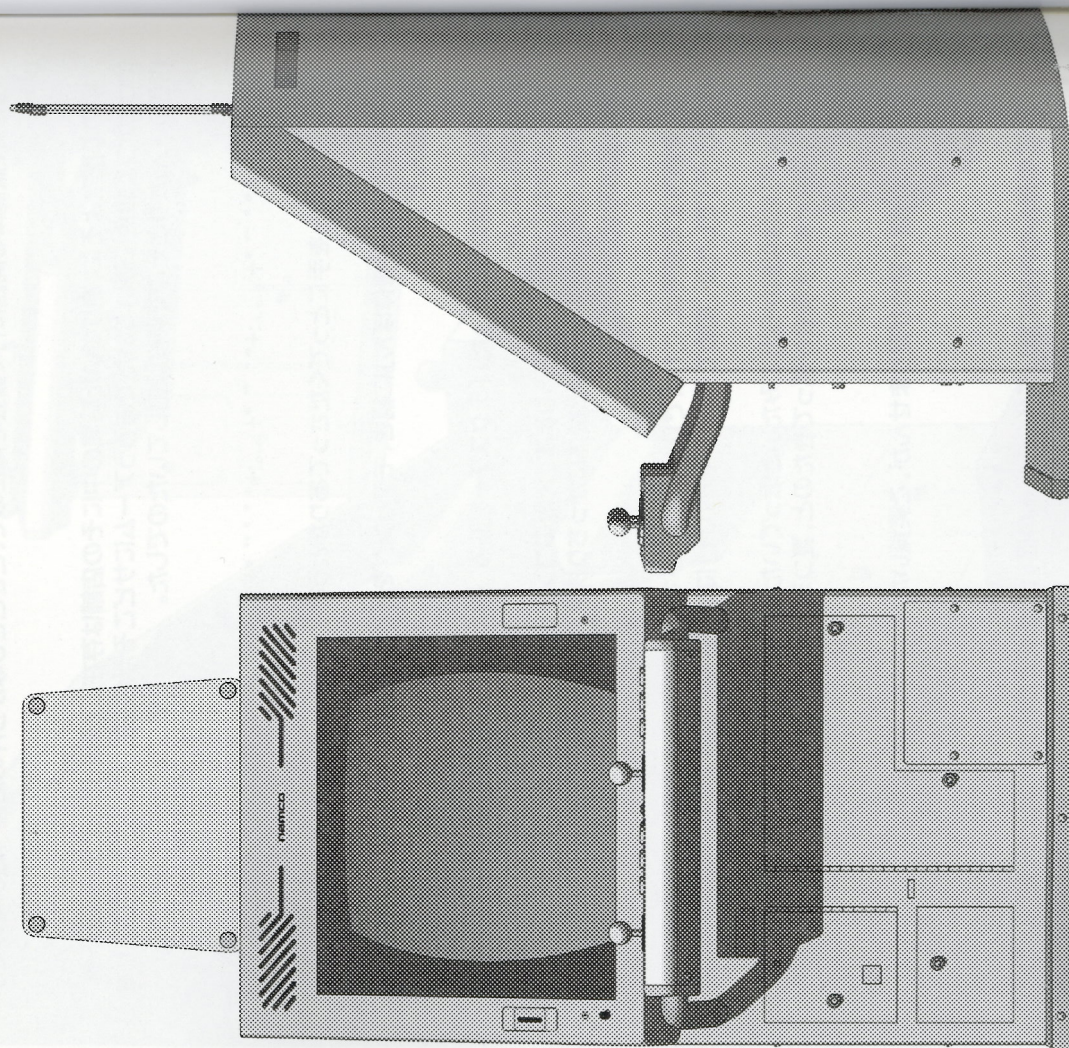


はんきょうたい ナムコ汎用筐体ぼん コンソレット26



はん よう ぎょう たい
ナムコ汎用筐体ぼん
コンソレット26



■ 夏休み(終了)だよ! 汎用筐体スペシャル ～まえがきのようなもの～

2012年、うだる暑さの8月、ある情報を頼りに大阪は「なんば」へ行ってきました。わたしが大好きなコンソレット筐体が現役稼働しているという情報です。

知人からそれを教えてもらったのは、約2年前。諸事情ですぐには確認に行けず、飛んでいきたい気持ちをおさえて、心の隅でじわじわる不安をかかえながら、祈っていました。こしばらく続く業界の時流、「閉店」という事態にならないことを――。

この夏、偶然にも関西に行く機会を得たので、どこぞきながら件の店舗へ赴いたのです。が……。

私の心配をよそに、凍りついた時間の中にその店舗は存在していました。コンソレット筐体は、かつて銀色に輝いていたであろうアームにサビこそ浮かべていたけれど、「雷電II」を内包し、しっかりとそこで現役稼働していたのです。

。。*+.:o.o.:+*。。*+.:o.o.:+*。。*+.:o.o.:+*。。*+.:o.o.:+*。。*+.:o.o.:+*。。*+.:o.o.:+*。。

さて、このほんを手にとってくださいありがとうございます。

前回の「セガ汎用筐体ぼん」に続き、モデリングをメインに掲載した、実に役に立たない汎用筐体ぼんです。

今回は、前回の課題だった、「テクスチャを貼る、パネル類やリベットをできるだけ再現する」を意識しました。が、まだやれてないところもあります。大阪のコンソレット26は、貴重な多くの情報を提供してくれましたが、残念ながら壁と筐体がちり挟まれ、背後がスキマなく隠れていたの、後ろ側の形状は未確認です。

ほんを頒布する場所は、これまで「レトロゲーム・マイナーゲーム中心同人誌即売会ゲームレジェンド」でしたが、初めて「コミティア101」に申し込みました。

「コミティア」には以前から出てみたいと思っていたのですが仕事で出られず(会場で売り子してた)、今回たまたま機会が巡ってきたのと、夏コミに落ちたことが実行のきっかけとなりました。

形状を含め、諸々詰めが足りませんが、ご覧いただければと思います!

(2012/08/28 Text: きらり屋)

※ このほんの内容に関してメーカーへの問い合わせ等は行わないでください。

銀色のアームが麗しい汎用筐体 コンソレット26 ナムコ

コントロールパネル(以下コンパネ)をアームで左右から支えた形状が独特。すがすがしいミントグリーンが当時ナムコ系列店を鮮やかに彩った。

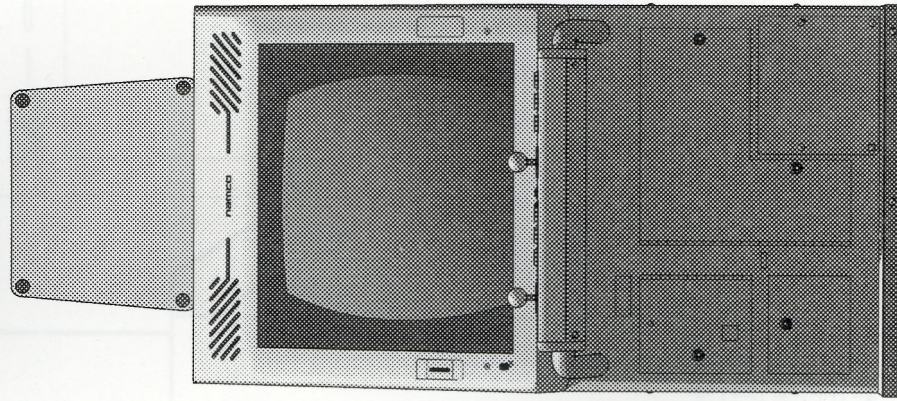
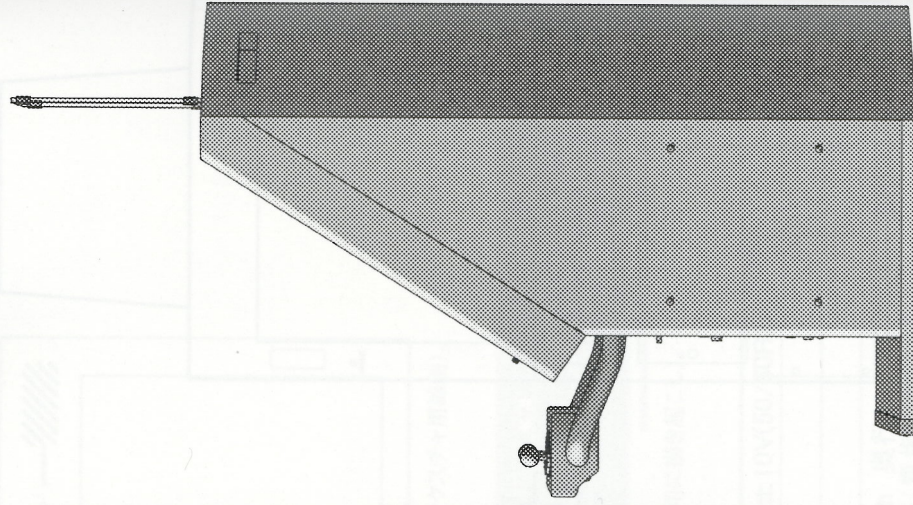
ロケーションでまだテーブル筐体も現役稼働していた'89年、コンソレット筐体は発売された。銀色のアームがコンパネをさも大切そうにプレイヤーに差し出すデザイン、明るいミントグリーンカラーのデーマカラー(後述するが他カラー版も存在する)は、ワケがわからないくらいに洗練された未来的なものに見えた。

コンソレット筐体には、26インチモニター版と、18インチモニター版が存在するが、このほんでは26インチ版のみをモデリングし、掲載している。

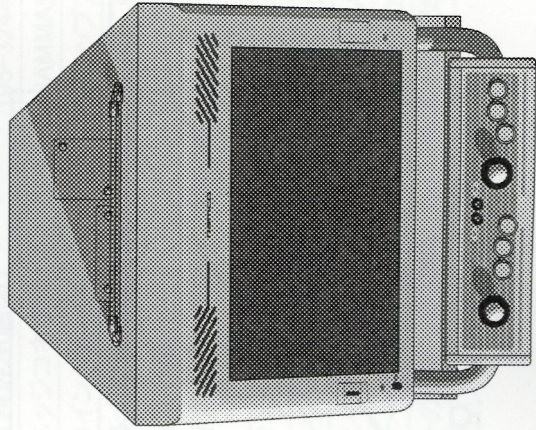
その理由は、モデリング用データを採集するにあたって、26インチ版しか実際に触れることができなかったためだ。

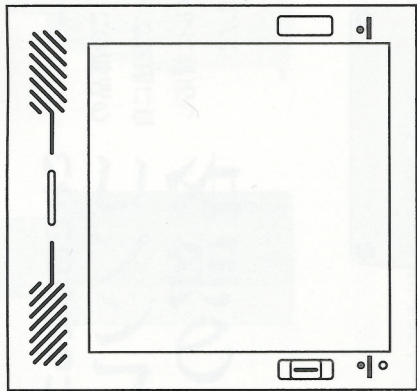
現存する実機は非常に少ない。もし見つけたらラッキーと思っただけで愛でて、中にどんな基板が入っているかを確認することをオススメする。

なぜならそれがコンソレットでできる最後の経験になるかもしれないからだ。

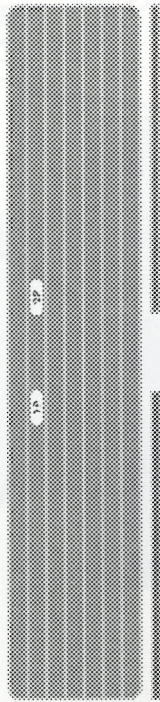


▲まえがきで触れたとおり、背面の形状は不明。おそらく、背面の下部が少し切れ上がったっている。背後の側面の上のほう、「手を掛けるであらう四角い穴」は、上から覗き込んでからうじて確認しただけなので、位置や大きさは正確ではない。一応その存在を確認したのだから、せっかくだから付けておいた(いわば雰囲気)。





▲前面スピーカー等(テキストチャ用線画)。

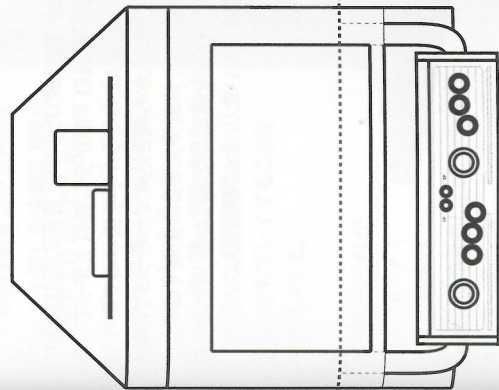
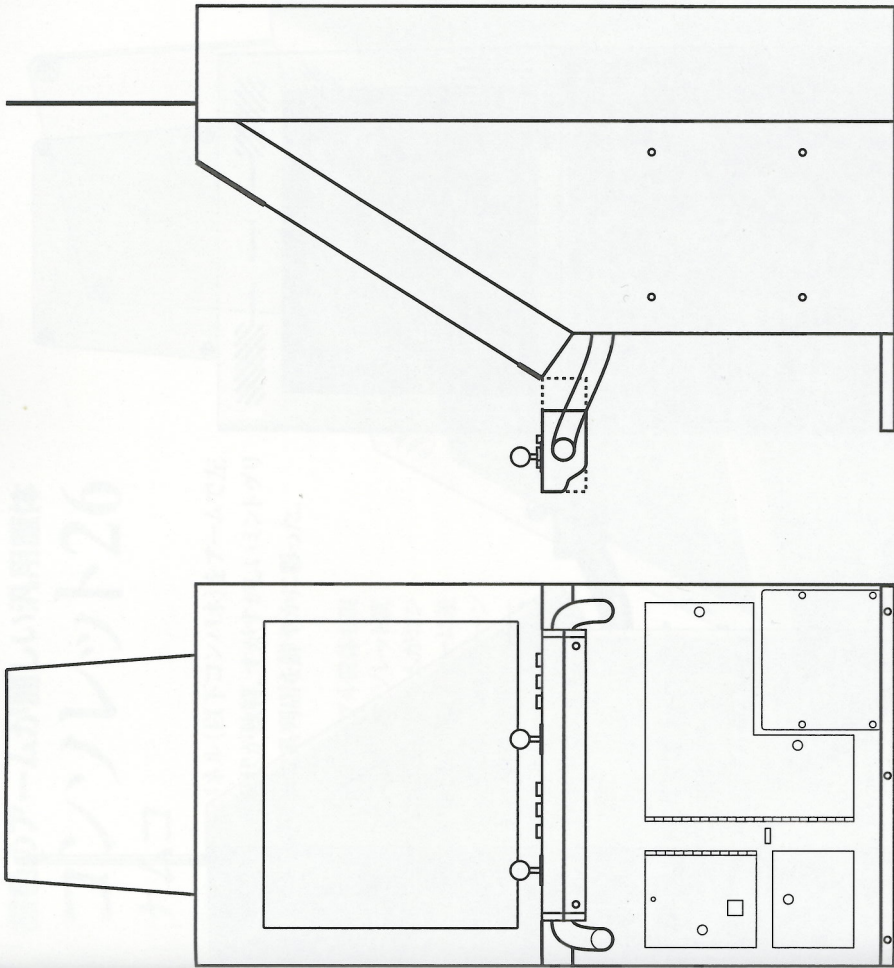


▲2P用コンパネの絵(テキストチャ用に描き起こし)。

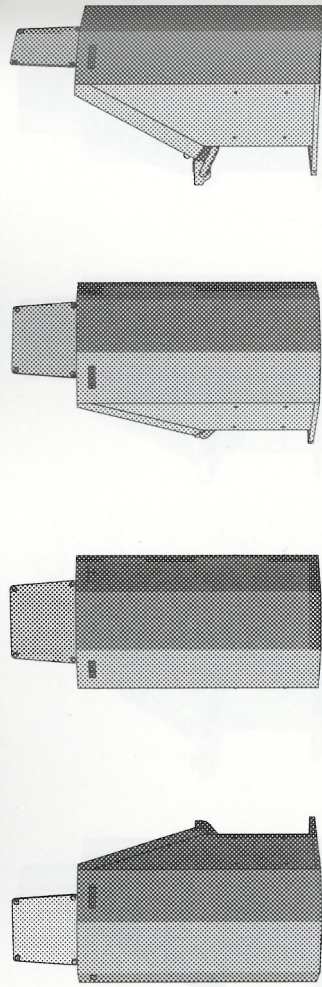
■仕様

使用電力	AC100V±10V(50/60Hz)
消費電力	120W
重量	100kg
寸法	幅710mm 奥行900mm(コンパネ部含む) 高さ1,290mm(看板取付時1,640mm)
?(特許出願中)	95-3244
エッジコネクタ	JAMMA規格
コインシユート	ドロップアウトタイプ 100円標準仕様
最大収容基板寸法	幅343 奥行422 高さ120(mm)
金庫収容	MAX2,000枚(100円仕様)
音声出力	ステレオ対応(25Wスピーカー×2)、ヘッドホンジャック(ステレオミニ)
ブラウン管	26インチカラーモニター(高解像度切換え可能)
コントロールパネル	1レバー・2ボタン(3ボタン可)、シングル・ダブルあり
スイッチングレギュレータ	容量+5V8A、-5V0.5A、+12V2A
サービスコンセント	MAX100W
その他	ペダルスペース、キヤスター付

▲コンソレット26のカタログに掲載のデータ。



▲モデリング用に書き起こした三面図。



これらの名称は、コンソレット26カタログより抜粋したものだ。

残念ながら最も目に付く特徴である、コンパネ左右の銀色アームの名称はわからなかった。もしかしたら筐体の取り扱い説明書には掲載されているかも？ という一縷の望みを持って調査を続行したい。

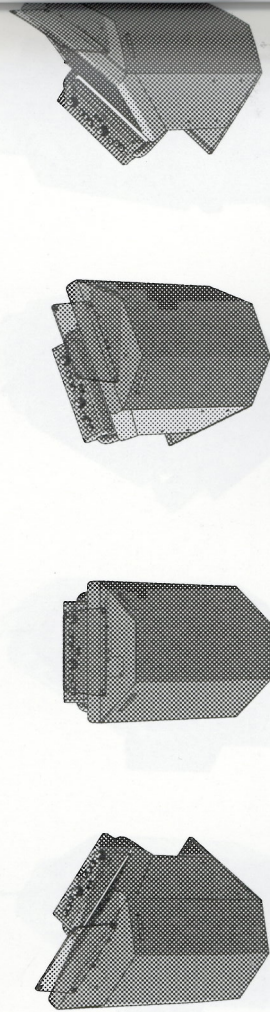
コンソレット筐体が好きだという方に話を伺うと、このアームが好きだとおっしゃる方がとても多い(筆者含む)ので、今後ぜひ詳らかにしたいところだ(名称が無いなら無いでその事実を確認したい)。

微妙に気になったのが、コントロールパネルにあって「26」と付いている点。18インチモニターを搭載したコンソレット18のほうは「コントロールパネル18」となるのだろう。デザインが同じでサイズが異なるため、明示的に区別してあるのか？

このほんには掲載していないが(途中いけるとふんでたけどモデリング間に合いませんでした)コンソレット18とコンソレット26は、デザインが同じだ。搭載するモニターのサイズが異なるので、必然的にコンパネの幅やスピーカーの幅などのサイズは異なるが、デザインは同じ。このように、モニターサイズの異なる筐体で、あたかもSサイズとLサイズのようにデザインが同じ筐体は、ちょっと珍しい(カプコン・ステータス筐体の18インチ版と25インチ版、SNK・キャンディシリーズは、筐体の外観そのものがない異なる)。

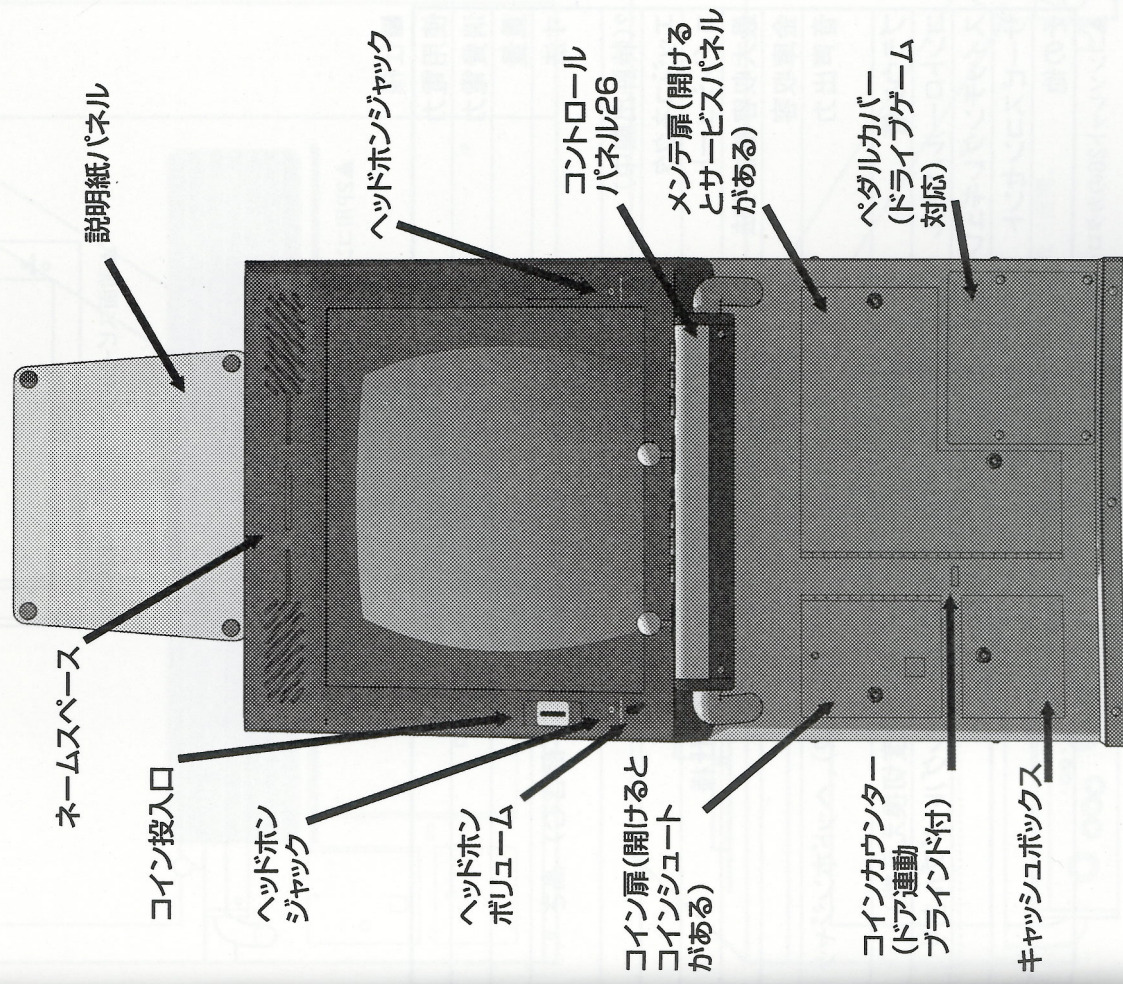
カタログによると、コンソレット26は、筐体前面の一番右下にペダルを設置可能であるという(これはコンソレット18には無い)。筆者は本筐体でペダル対応のドライブゲームが稼働しているのを見たことが無いので、底知れぬポテンシャルに驚かされた。

コンソレット26……侮りがたし。



これであなともコンソレット通だ! コンソレット26 各部の名称

意外と知らないあの場所の呼び方、この部品の名称。すべて覚えて明日さっそく会社で友達に自慢しよう。それにしても本筐体がペダルに対応していたとは……筆者は知りませんでした!



■二つ名を持っています

この本を手にしたあなたは、ロケーションに足を運んだ経験をお持ちだろう。とすると、本筐体がロケーションで「UZ(ユーズット)筐体」と呼ばれるのを聞いたことはないだろうか？

実はナムコの筐体には社内管理用の筐体コードというものがあって、「UZ」はコンソレット26に与えられたコードなのだ。

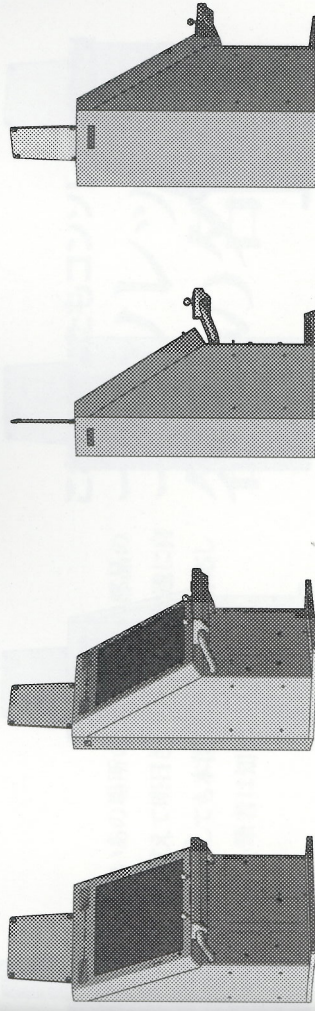
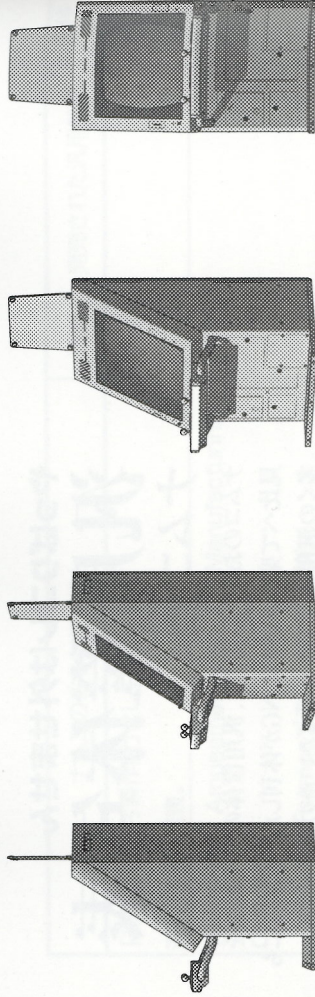
当時、ナムコ社員、アルバイトのあいだでは、「コンソレット」よりも「UZ(ユーズット)筐体」と呼ばれるほうが多かったようだ。

筆者は昔、キャロット系列(ナムコの直営店舗)の常連で、その店員である友人がコンソレット26(あるいは18)を「UZ筐体」と呼ぶのをときどき聞いていた。しかしあるとき、実はコンソレットという名称があるのだと教えてもらって、ミョーに興奮した記憶がある(最近twitterでやり交わっていて記憶が蘇りました)。

ちなみに筐体コードは、ナムコ筐体すべてに存在する。ナムコ筐体すべてが二つ名を持っていると思うと、なんだかちょっと胸が熱くならないだろうか？

メジャーなところでは、エクセリーナ筐体(青くて凹凸がユニークな筐体)は「UV(ユーブイ)筐体」、エクセリーナII(赤いシンブルな筐体)は「UV2(ユーブイツー)」、サイバーリード(ラベンダー色と白のツートン)は「UR(ユースール)筐体」という具合だ。

会話の中でさりげなく使ってみれば、ちょっと通っばいかも？



さらなる深みを突き進め!

コンソレットとりびあ

さりげなく披露すれば尊敬の眼差しで見られること請け合いのコンソレット筐体トリビア。披露する場がなくても、そっとなのなかでつぶやくだけでなんどか力が湧いてくるぞ。

■カラーバリエーション

コンソレット筐体のカラーバリエーションは2色。ミントグリーン(薄いエメラルド色)と、紺色(濃いあい色)だ。これはお好みで店が選べるというのではなく、そこに意味が存在する。ミントグリーンの筐体は、ナムコ直営の店舗に設置が許されていたもので、紺色の筐体は直営店以外に販売されていたものだ。

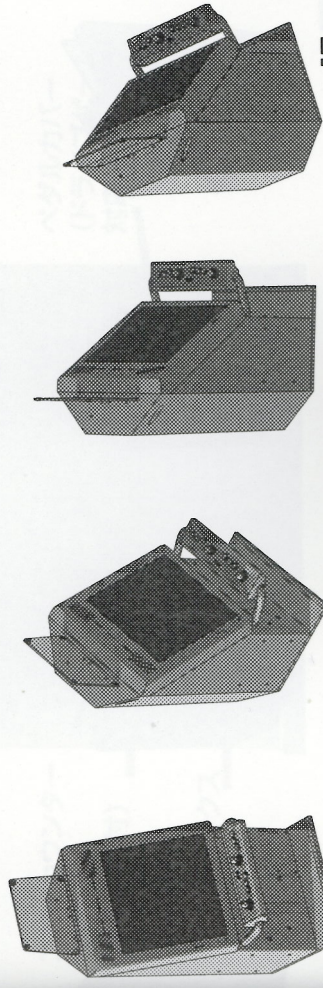
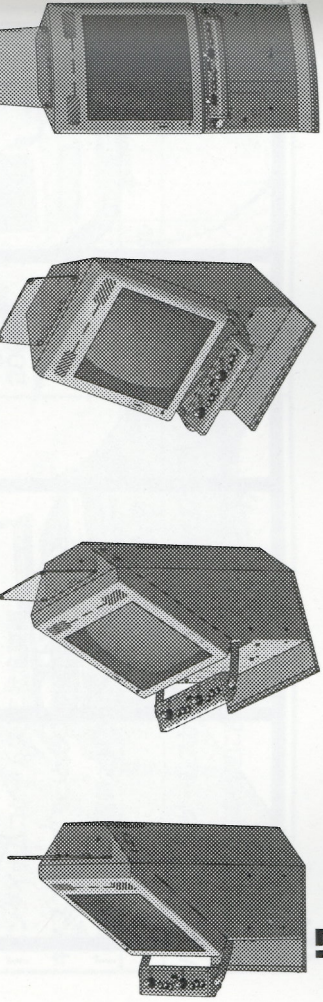
このため、ミントグリーン版は、前面センター上部のネームスペースに、「namco」と社名が入っている。対する紺色の筐体は、何も入っていないことが多い。

「コンソレット26」のカタログに、

「大量受注による特別仕様承ります(ネームプレート、筐体カラー等)」

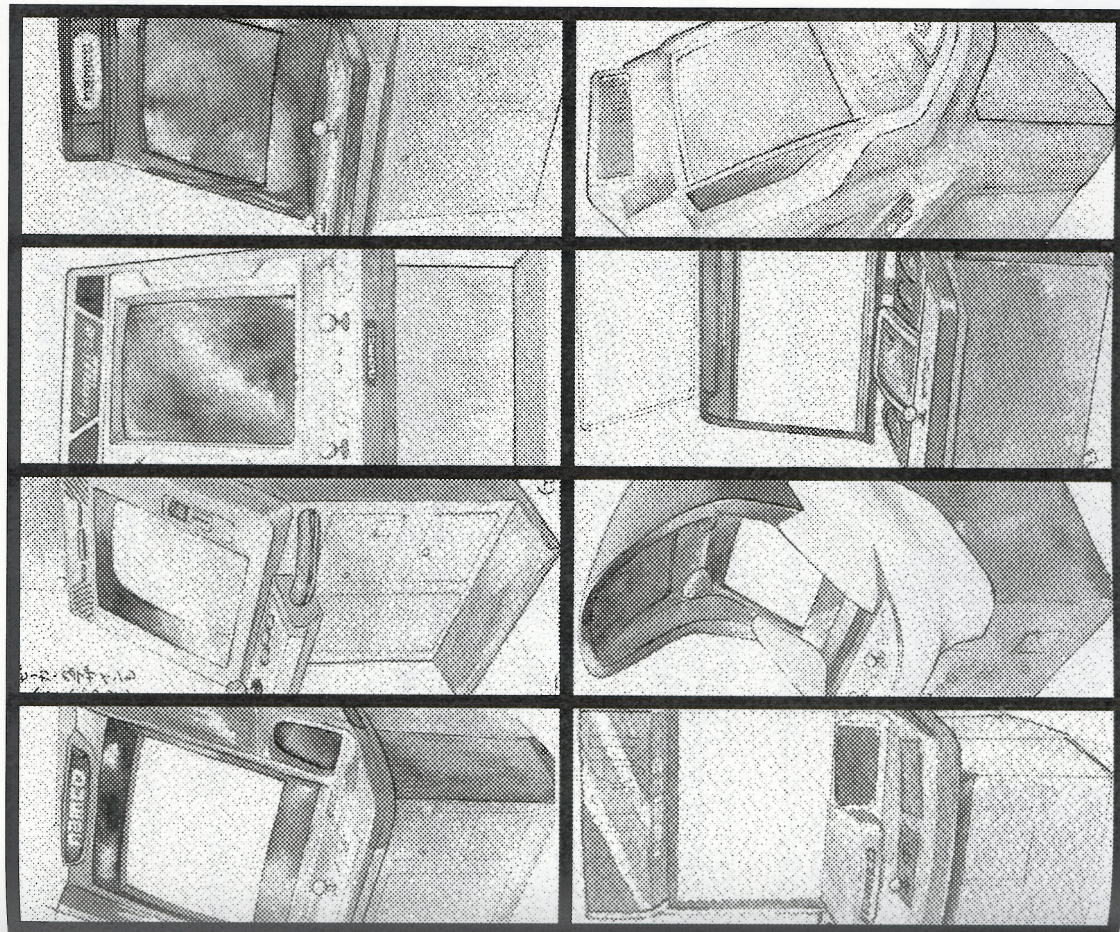
との文面が見受けられる。ということは、独自のネームプレートを背負い、異なるカラーを身まとったコンソレットも少数存在すると思われる。

ときどきネット上で水色版を見かけるが、これが特別仕様なのだろうか？(特定の系列店専用の仕様とか)



やっぱりコレは外せません 汎用筐体年表 ナムコ編

ナムコのおもな出来事と、汎用筐体の発売時期を見比べて楽しめる年表。NGが休刊した年、こんなにも多くの汎用筐体が世に羽ばたいたのが興味深い。



ナムコのおもなできごと	西暦	発売された汎用筐体	筐体 コード
「有限会社中村製作所」として創業。 遊具「木馬」発表。	1955		
「Nakamura Amusement Machine Manufacturing Company」 の略として「namcoブランド」の使用開始。 「株式会社ナムコ」に社名変更。	1971		
ビデオゲーム「ジービー」発表。	1977		
ナムコ一社提供番組「ラジオはアメリカン」放送開始。	1978		
「namcotレーベル」の使用開始。	1981		
それまで季刊配布されていたフリーマガジン「NG」が月刊化。定価150円に。	1983		
エレメカ「ワニワニニック」発表。 NG29号から隔月刊に。	1986		
大阪で開催された国際花と緑の博覧会で「ドルアーガの塔」「ギャラクシアン3」発表。	1989	コンソレット	UZ
「ナムコ・ワンダーエッグ」開園。	1990		
「ナムコ・ワンダーエッグ」開園。 NG52号で休刊。	1992		
	1993	エクセルキャビネット エクセリーナ アリーナサイト ダイナライブ	UV
	1995	エクセリーナ2	UV2
「namcotレーベル」の廃止。namcolに統一。 「ラジオはアメリカン」放送終了。 「ナンジャタウン」開園。	1996		
	1997	サイバーリード	UR
「ナムコ・ワンダーエッグ」開園。	2000	サイバーリードII	
「バンダイナムコゲームス」に社名変更。 ギネスブックに「もっとも成功したビデオゲーム」として 「バックマン」が登録される。	2006		
	2007	ノアール	
バンダイナムコゲームスがプロデュースした小学校の教科書が文部科学省の検定に合格。2011年春から学校現場で 使われることに。	2010		

＜大スターへの道＞

せっかくだから足を運んでみてはいかがでしょうか(自己責任でお願いします)。

「大スター なんぼ」

で、ネット検索 (google) すれば住所が出てくるので、そこを目指します。

おわり。



▲店内もさることながら、外観も己の路線を突き進む「大スター」。大通り沿いとは思えない煤けた感じで物言わぬ威厳を放つ。来年も再来年も、どうかこのままでありますように――。

少し補足すると、大阪の地下鉄御堂筋線「なんば駅」で下車、5番出口から地上に上がります。すると、大通りの向かい側に店舗が見えます。

が、「ゲーム」と書かれた雨除け(日除け?)みたいなテントっぽところが、非常に汚れている＆濃い緑色なので、わかりにくいことこの上ないです。

私は地図を持っていたにもかかわらず、1本裏の通りに行ってしまう(人はそれを方向音痴と呼ぶ)。一応店舗入り口は、裏通り剛にもあるのですが(店内を迂回して裏通りに行ける)、裏の入り口はもっとわかりにくいです。ぐるっとブロックを1周して、やっと上の写真にある電光看板に気がきました。

で、今気付きましたが、写真を見る限り「大スター」という店名が見当たりませんね。ゲーゼンということしか分かりません(ゲームとゲームのライン取りもおかしい)。

「そりゃー裏の焼き鳥屋さんに「大スターというゲームセンターの近くにありませんか？」
と尋ねても知らないと言われるワケだ……」。

冷静に見ると、「テレビゲーム、ゲームゲーム」もへん……言いたいことはわかるけど。

■あとかぎにかえて～昭和の香り満載！店の名前は「大スター」～

「なんだこりゃ、今を一本いつだと思ってるんだこの店!」

今回コンソレット26を探訪したお店は、なんばの「大スター」というお店です。ひとことという、名前のわりにものすごく寂れたお店でした。しかし多様な古い汎用筐体が現役稼働していて、ある意味昭和の大スターかもしれません。

少なくとも私にとっては名が体を表す、まさに大スターでした。

3時間ほど居たあいだ、5回くらい窓(らしき)の出入りがあったが、涼を取るためだけに来たひと(8月冒頭の暑い日でした)が半分という感じでした。

ゲームをちまちま確認して、プレイせずに立ち去る姿がほとんど。一応丸椅子に腰掛けるものの、一服しながらスマートフォンをいじってそのまま退散、という方もいらっしゃいました。

[illegible]

お店をあとする直前、高校生と思しき数名がやってきて、楽しそうにゲームをしている様子には、なんだかほっとしました。ちょうどそのとき、名残を惜んで動画撮影をしていたので、少し賑やかな、いかにもゲーセンという感じのBGMのなかでコンソレット26を撮影できました。

動画は、以下URLに上げました。何か問題が発生しない限り下げませんので、しばらくうすらぼんやりとネット上に存在すると思います。よろしければご覧ください(個人的メモのつもりで撮ったものなので、揺れまくり&ひとりごと&喧いてますがご容赦を)

<http://video.fc2.com/content/20120815Bx3bL4Ww>

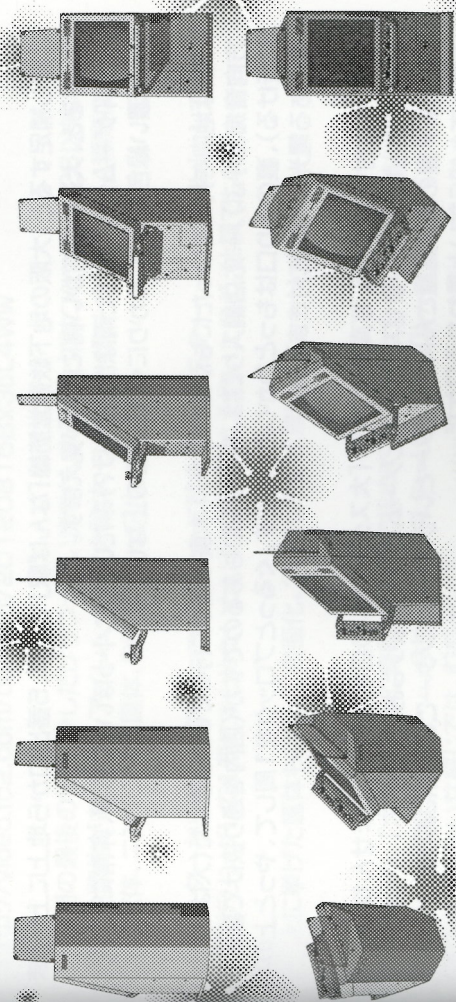
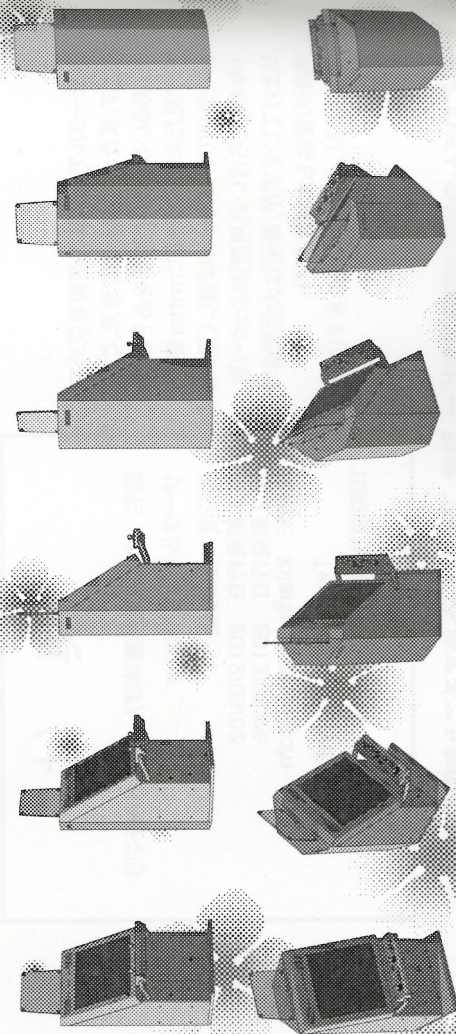
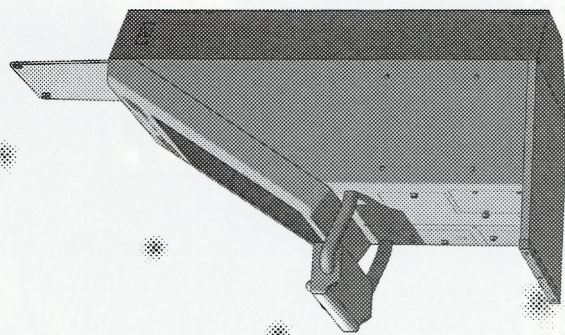
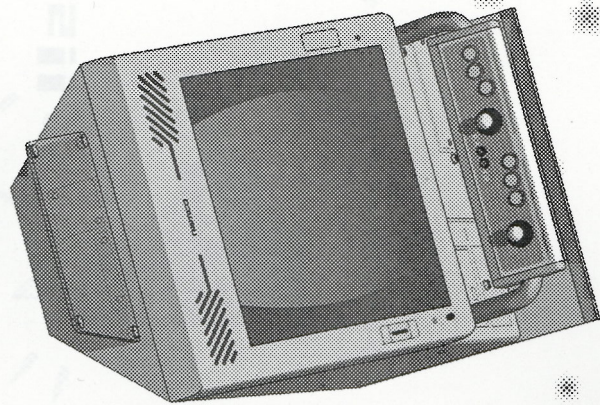
動画の最後のほう、少しだけうつっています。大スターにはコンソレット26以外にも多くの古い筐体があります。アイレム、マドンナ筐体、コナミドリームJr、SNK系4種類ほど、ジャレコ筐体、ニンテン・VS筐体、DECO・テーブル……。

大スターから帰った直後は、コンソレットに絞らずに「大スター スペシャル」としてたくさんモデリングして1冊にまとめたという無謀な夢さえ抱いたほど、壮観でした。

上に挙げた筐体も、追って図面化、3D化したいと思います。

というか、「大スター」って言葉、この歳で初めて知りましたが、この言葉自体に昭和の薫りが沁み込んでますよね……。今はピンで大スターじゃなく、グループでメンバーそれぞれがブチスターみたいな感じでは、むむ。

■ 汎用筐体メモスベース
コンソレット26の、あなたのお気に入りの角度を見つけて○してね!





HDO 様
管野 哲也 様
大木 真一 様
おばくろさん
中小企業診断士 神戸 壮太 様

貴重な情報をご提供いただきました。ほんとうにありがとうございます！ 今回明確に出来なかった点も、更に掘り下げて調べていけたらと思っています。

TYRANT-R.K.様

いつも好きにやらせていただき、ありがとうございます。
そして……

京都の母 ←わたしが大スターで大興奮している間、まご(3歳&5歳)にもみくちやにされていた

ほかにもたくさんの方のご好意、ご協力のおかげで、この本を発行することができました。ありがとうございます！

最後になりましたが、この本をお手にとってくださったあなた様、ほんとうにありがとうございます。お互い元気で、また次のほんでお会いできますことを祈っております。そのときまで、ごきげんよう。

(Text : きらり屋)

奥 付

誌名 ナムコ汎用筐体ぼん コンソレット26
サークル名 Doxster
発行者 きらり屋
第1刷発行日 2012/09/02
第3刷発行日 2013/05/26
連絡先 kilariya@gmail.com
Twitter @kilariya
印刷会社 (株)POPLS 様

当サークルでは筐体の情報を求めています。また、このほんのご意見、ご感想、あるいは「珍しい筐体をあそこのお店で見つたよ!」等、気軽にtwitter等でお声をかけていただければ嬉しく思います(今のところ古い汎用筐体ばかり取り上げていますが、筆者は大型筐体や最新の筐体も大好きです)。どうぞよろしく願います(^-^)/

※ このほんの内容を無断でコピー、改変、アップロード等することを固く禁じます。

ナムコ汎用筐体ぼん コンソレット26

Namco Candycabinet
Consolette29

© **Boxster**

1P

2P

